

花巻の仕事

Made in HANAMAKI

枝付大粒干しぶどう

Amulet of the Sun
(アミュレット オフザサン)

従来の干しぶどうになり、枝付きによるボリューム感と、大粒種の特徴を生かした果実感が残った食感。輸入品で行われているオイルコーティングをしない安心で自然な味わいです。



無添加ぶどうジュース

Blessings of the Moon
(ブレスिंगス オフザムーン)

生食用の完熟ブドウのみを使用し、果汁抽出後3カ月の熟成期間を置いた後、その上澄みだけを使用した最上級のジュース。ブドウ本来の甘さと酸味が楽しめます。



会社名 佐藤ぶどう園
所在地 花巻市高木24-53 (☎0198-23-5298)
会社概要 昭和29年からブドウを栽培。こだわりは「一枝一房」。農業は最低限に抑える環境や体に優しい栽培方法で、県のエコファーマーに認定されている

**県内でも被害増加
オレオレ詐欺に注意!**

■**どんなトラブルがあるの?**
○突然、法律事務所の職員を名乗る者から「あなたの息子が会社のお金に手を出した。お宅に2千万円の請求書が届いてますね」と電話があり、翌日には、息子を名乗る者から「投資に失敗し、会社のお金を使い込んだ。2千万円を立ててほしい」と電話があった。その後、指示されるままに見知らぬ男に現金を渡してしまっ

■**注意することは?**
○息子を名乗る者から「風邪をひいて声が変わっている」「携帯電話を落としてしまい、電話番号が変わった」などと言われても、信じ込まないようにしましょう

○お金を渡してしまうと取り戻すのは極めて困難です。慌ててお金を用意する前に本人に連絡を取りましょう

○不審な電話があったら、家族や警察に相談しましょう

■**困ったときは?**
○市民生活総合相談センター(☎24-2111 内線259)へ

市民生活コーナー

街中を花で飾り たくさんの人を癒したい

◆市の生涯学習講師としてハンギングバスケットを教えているそうですね

草花などをつり鉢に植えるハンギングバスケットを若いお母さんやお年寄りなど、さまざまな年代の方に教えています。依頼があれば、一人からでも教えます。

◆ハンギングバスケットを始めたいきっかけは

15年ほど前に大きな病気をしたのですが、そのとき花の美しさに感動し癒されハンギングバスケットを始めました。最初は自分が勉強するので精一杯でしたが、年数を重ねるうちに覚えてきたことをお裾分けできたらと思い、生涯学習講師に

登録しました。

◆ハンギングバスケットの魅力は

生け花と違うのは、つり鉢に植え込んだときからスタートということ。一番きれいに見せたい時に向けて、タイムリングを見計らいながら葉や茎を切り落とし、追肥をしたり。イメージどおりに花を咲かせるのはとても難しいのですが、だからこそイメージどおりになったときの喜びはひとしおです。

◆今後の目標は

「花巻」を名前にふさわしく花で街中をきれいに飾り、花でたくさんの人を癒したいですね。

パーソナル 93



たくみ かおり
内匠 香織 さん
(上諏訪 55歳)

世界と花巻

The world and HANAMAKI

vol.15



アメリカ国内の露天風呂。水着を着て入ります



花巻市国際都市推進員
ジェシー・ガットマン

じょうにリラックスするために温泉に行きます。日本とは違い、アメリカには屋外にある温泉が少なく、多くのアメリカ人は日本の露天風呂をとて素晴らしいと思っています。

アメリカ人が日本の温泉に初めて行くときは、軽いカルチャーショックを経験しますし、その逆もあると思います。例えば、アメリカでは温泉に裸でなく水着を着て入ると聞くと、日本人は少し驚きます。同様に、ホットスプリングス市から花巻市に来たほとんどの人が、日本の温泉で裸になるという習慣に驚いているようです。それが非常に面白いと感じる人もいますし、衝撃を受ける人もいます。人がたくさんいる所で裸になることを極端に嫌がる一部のアメリカ人にとって、この習慣に慣れるのは難しいことです。それ以外のアメリカ人は、本当に楽しく珍しい機会と捉えるのですが、私も、花巻の温泉が大好きです。リラックスして温泉に行きましょう。

温泉には裸で入る？水着で入る？

花巻市は、素晴らしい温泉地として知られていますが、同様にアメリカ国内で有名なのが花巻市の姉妹都市ホットスプリングス市です。「ホットスプリングス」は温泉を表す英単語ですが、日本語の「おんせん」は「日本の温泉」という意味で多くのアメリカ人に知られています。

アメリカと日本の温泉は類似点も多くありますが、大きな違いもいくつかあります。アメリカでは、温泉はちょっと珍しく、温泉がある州や市の人だけに人気があります。アメリカ人も日本人と同

いきいき仲間たち



本を読むきっかけにしてほしい。平成17年5月に設立した「おはなしぽけっと」は、本の読み聞かせを通じて子どもたちに読書の楽しさを伝えていきます。

メンバーは女性5人。石鳥谷図書館が開催している「土曜わくわくタイム」で読み聞かせをしているほか、年に1度、石鳥谷地域の五つの保育園を訪問し、活動しています。

「ただ上手に読むだけでは駄目。子どもたちの表情や会場の雰囲気を見ながら、いかに喜んでもらえるか考えています」と話す代表の大村真喜子さん。大型絵本や紙芝居、時



毎月第3土曜日、石鳥谷図書館で読み聞かせを行っている同会。多くの子どもたちが本の魅力に触れています

には手品なども取り入れながら、子どもたちを楽しませています。

「子どもの感性に驚くことがあり、それが自分たちのエネルギーになっていきます」とメンバーの皆さん。「対象者を広げ、地域のサロンなどでも活動してみたい」と今後の活動に意欲を見せています。

読み聞かせで
読書の楽しさを伝える
おはなしぽけっと

【問い合わせ】
代表 大村真喜子さん(☎45-3233)